

# ポスターセッション

# Agricultural ESD Symp

# 11/6

November 6th, 2008

# AM

学生によるポスターセッションが、大会会館ホールのホワイエで開催されました。このポスターセッションには、筑波大学大学院生6名、茨城大学大学院生8名、筑波大学附属坂戸高校からは教員1名と生徒2名が参加し、発表を行いました。学生は緊張した面持ちで、自分の研究内容について審査員に一生懸命説明していました。このポスターセッションを通じて、学生は英語を使って海外研究者に情報を伝達する良い経験を積むことができました。今年から開催したAg-ESDシンポジウムの特徴は、単なる国際会議にとどまらず、これを活用した学生教育を積極的に推進することが挙げられます。ポスターセッションもその一環として行われ、海外からの参加者などが審査員となって、発表内容が審査され、筑波大学大学院生命環境科学研究科、三木悠吾君と茨城大学大学院農学研究科、梅津昌史君の2名がベストポスター賞を受賞しました。また、筑波大学附属坂戸高校、土屋沙良さん、内田 怜さんにも特別賞が授与されました。



土屋沙良さん、内田 怜さん



## Poster Session



### 三木悠吾

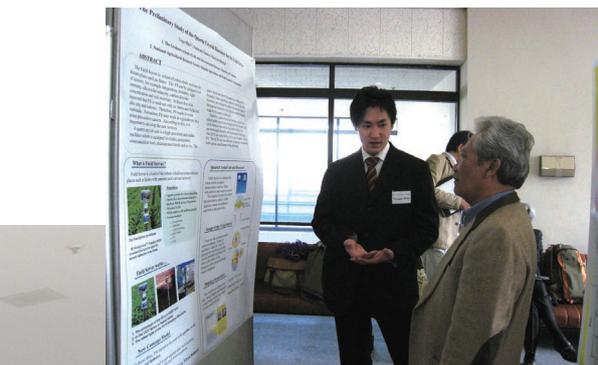
筑波大学大学院  
生命環境科学研究科  
生物資源科学専攻



ポスターセッションでは様々な出会いや驚きがありました。

その一つに、自分と同じ研究テーマを持っている人との出会いがあります。セッション中にインドネシアの教授が、「このプロジェクトのことはよく知ってるよ」と話しかけてくれました。世界中で5人の研究者が同じ分野の研究を行っているとは聞いていましたが、実際にその研究者に会える機会は少ないと感じています。そのため今回の出会いによって、大きな驚きと研究を通して自分が世界と繋がっていると感ずることが出来ました。

また、ベスト・ポスター・アワードに選ばれたのも非常に大きな驚きでした。研究に対してのモチベーションが高くなったのを感じました。学生の間に国際的なシンポジウムで発表する機会は少ないので、Ag-ESDシンポジウムのポスターセッションはよい機会になったと思います。



### 梅津昌史

茨城大学大学院農学研究科  
資源生物科学専攻

私にとってAg-ESDシンポジウムのポスターセッションは楽しく有意義なものでした。

ポスターセッションの参加者は私とは研究分野の異なる方がほとんどであり、普段あまり意識しないことを質問されたのが新鮮でした。さらに数名の高校生も参加しており、堂々と発表していました。発表内容についても、目的がはっきりしており、明瞭な発表で、刺激を受け参考になりました。最後に、ベスト・ポスター賞をいただけたことには大変驚くとともに感謝しております。

実際に審査していただいた海外の大学の先生とは懇親会でもお話をすることができ、私のポスター、研究についてアドバイスをいただきました。今回のポスター賞受賞は研究を進めていく上で自信になりました。

